

事例 I 両面(人事込み)

- ・会社のサービスをみてから
- ・会社のイメージをつくる
- ・取扱商品 → <土産もつける>

回答は両面から。
客觀的な多様性。

A社の方 → ①導入
②A社:A社

1項目 強みと弱点、外部環境変化

2項目 素直に答えることだけ。それは理由

3項目 Human Resource Management 人材資源管理

何やる? → ターゲット、ニーズに注目

何ができない → それは私たる、在用されがちの専門人材

「一括」「ばら王」によくない。

事例 II マーケティング、流通

1項目 B店がもつマーケティング戦略 - 与件にヒントある。

2項目 必ず質問する。目的は人勝ちのX Win-Winが好きなのが普通

3項目 知識

業種に着目 → 特定の知識が必要な、地域貢献

企業の社会的責任を考える欠点。大手と並んでいつづけ。

事例Ⅱ 生産・技術

1項目 強み (又は強みと弱み)

2項目 顧客満足と対応策.
〔これが中止されると△〕

3項目 行動マトリ (行動マトリクス)

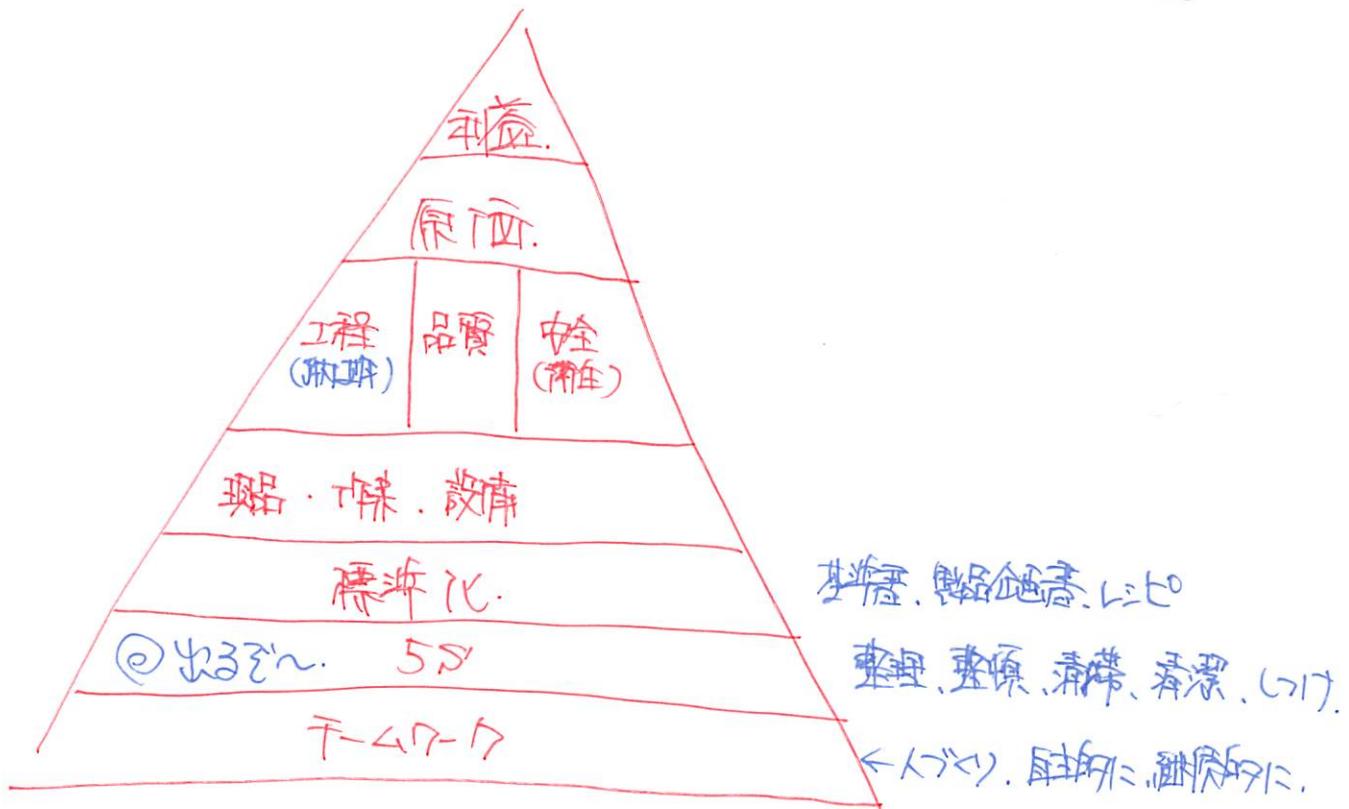
生産現場でパラッキは ×

←工場商場化と並べ.

在庫削減→販売↑
ペ

これが無い。これが答え

まだ、あり。どちらも無理



生産方式と品質は別個の話.

セル生産方式とTマトリ.

QCマトリクス → 品質管理.